

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成25年2月14日 (2013.2.14)

【公開番号】特開2011-140968(P2011-140968A)

【公開日】平成23年7月21日 (2011.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2011-029

【出願番号】特願2010-564(P2010-564)

【国際特許分類】

F 1 5 B 15/02 (2006.01)

F 1 5 B 15/14 (2006.01)

【F I】

F 1 5 B 15/02 Z

F 1 5 B 15/14 3 6 5

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月26日 (2012.12.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

また、シリンダ本体 1 2 の一側面には、図 5 に示されるように、圧力流体の供給・排出される第 1 及び第 2 ポート（流体出入ポート）2 6、2 8 が該シリンダ本体 1 2 の長手方向と直交するように形成され、後述する一対の貫通孔（シリンダ室）3 0 a、3 0 b と連通している。さらに、シリンダ本体 1 2 の他側面には、長手方向（矢印 A、B 方向）に沿って二条のセンサ取付溝 3 2 がそれぞれ形成され、図示しないセンサが装着される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 6】

また、ガイドブロック 9 2 とは別部材のボール循環部材 9 4 a、9 4 b を装着し、ボール循環孔 1 0 2 を設ける構成としているため、前記ボール循環孔 1 0 2 をガイドブロック 9 2 に対して加工等で直接形成する場合と比較し、該ガイドブロック 9 2 におけるボール循環孔 1 0 2 近傍の肉厚等を考慮する必要がなく、前記ボール循環部材 9 4 a、9 4 b のボール循環孔 1 0 2 を、シリンダ本体 1 2 側に設けることが可能となる。その結果、ボール循環孔 1 0 2 を形成するためにガイドブロック 9 2 の厚さを増加させる必要がなく、その結果、前記ガイドブロック 9 2 の薄型化を図ることができる。